

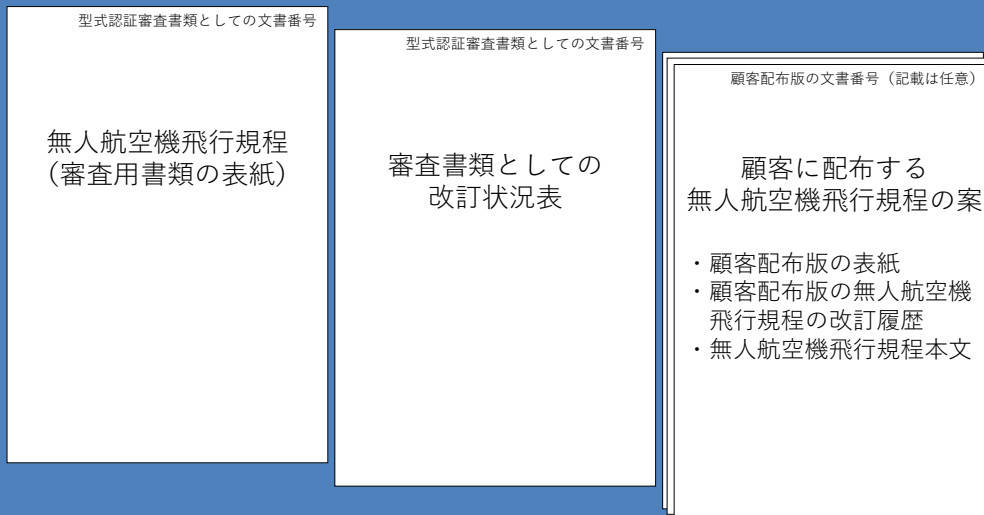
- ※ 型式認証審査書類としての文書番号を記載します。
- ※ 申請者の有する文書管理の規定等に従って型式認証の審査を受けるための文書に社内管理用の文書番号を付す場合、型式認証審査中の文書番号と顧客配付版の文書番号が同一にならないよう注意して下さい。1つの文書番号に対して、型式認証審査中の文書と顧客配付版の文書という異なる2種類の文書が混在することを避けるためです。

○○○○○○式○○○○型無人航空機

無人航空機飛行規程 (審査用)

※これは無人航空機飛行規程の一例です。各型式の設計・特徴に見合った内容を記載して下さい。

- ※ 審査用の文書としては、顧客に配布する予定の無人航空機飛行規程の案に審査用書類の表紙及び審査書類としての改訂状況表を添付したものを用意して下さい。書類の構成イメージは、以下のとおりです。



管理責任者：XXXX 株式会社

改訂状況表			
改訂番号	改訂年月日	改訂頁	改訂理由
ORG	令和○年○月○日		初版発行
1	令和○年○月○日	○○	○○のため修正

※ このページの改訂番号は、型式認証審査中に行われた改訂履歴を記載します。

※ 初版の発行日は、飛行規程の案の社内発行日を記載します。西暦表記でも構いません。

※ 型式認証審査中の飛行規程案の改訂番号と顧客配付版の改訂番号の対応関係（注：内容が一致する版のそれぞれの文書の改訂番号の対応関係）は、申請者の文書管理の規定等に従って管理して下さい。

文書番号：○○○○○○○○○○

改訂番号：ORG

- ※ 社内管理が適切に行われていれば、顧客配布版への文書番号の記載は任意です。
- ※ 申請者の有する文書管理の規定等に従って顧客配布版の文書に社内管理用の文書番号を付す場合、型式認証審査中の文書番号と顧客配布版の文書番号が同一にならないよう注意して下さい。1つの文書番号に対して、型式認証審査中の文書と顧客配布版の文書という異なる2種類の文書が混在することを避けるためです。

○○○○○式○○○○型無人航空機

無人航空機飛行規程

※航空局の承認を受けた後、必要な日付等を記入の上、このページ以降の部分を無人航空機飛行規程として顧客に配布して下さい。

管理責任者：XXXX 株式会社

改訂状況表			
改訂番号	改訂年月日	改訂頁	改訂理由
ORG	令和〇年〇〇月〇〇日		初版発行

※ このページの改訂番号は、型式認証審査中に改訂が行われたとしても、顧客等への配付向け正式版としては初版の扱いになります。

※ 初版の発行日は、型式認証書の発行日を記載します。西暦表記でも構いません。

※ 型式認証審査中の飛行規程案の改訂番号と顧客配付版の改訂番号の対応関係（注：内容が一致する版のそれぞれの文書の改訂番号の対応関係）は、申請者の文書管理の規定等に従って管理して下さい。

※ 型式認証審査中の本文書の改訂履歴は、顧客配布版に記載しないで下さい。

※ 各ページに文書名、改訂番号及び改訂日を明示して下さい。

〇〇〇〇〇式〇〇〇〇型無人航空機
無人航空機飛行規程 改訂番号〇〇〇
令和〇年〇〇月〇〇日

目 次

第 1 章	概要	1-1
第 2 章	無人航空機運用限界（航空局承認対象）	2-1～2-3
第 3 章	無人航空機の運用手順	3-1～3-2
第 4 章	性能情報	4-1
第 5 章	搭載情報	5-1
第 6 章	設計、運用又は取扱いによる安全な運用に必要なその他の情報	6-1

第 1 章 概要

1. 1 設計者の名称

- ・ XXXX 株式会社

1. 2 製造者の名称

- ・ XXXX 株式会社

1. 3 無人航空機の種類及び型式

- ・ 機体の種類：回転翼航空機（マルチローター）
- ・ 型式：〇〇〇〇〇式〇〇〇〇型

第2章 無人航空機運用限界（航空局承認対象）

2. 1 一般

本章には、無人航空機の運用限界が記載されている。

2. 2 最大離陸重量、最大積載重量

- ・ 最大離陸重量：○○kg
- ・ 最大積載重量： ○kg

2. 3 最大飛行速度

- ・ ○○m/s

2. 4 最大飛行時間

- ・ ○○分

2. 5 最低運用速度（VMIN）

- ・ ○○m/s

2. 6 バッテリーの電力容量、使用可能容量及び型番

- ・ バッテリーの電力容量：○○○○mAh
- ・ バッテリーの使用可能容量：○○○○mAh
- ・ バッテリーの型番：○○○○○○○○○○○○○○○○（メーカー名：○○○○○○○）

2. 7 最低離陸面積

- ・ ○○m²

2. 8 最低着陸面積及び最小配達エリア

- ・ 最低着陸面積：○○○m²
- ・ 最小配達エリア：○○○m²

2. 9 動力装備の出力設定と消費量

- ・ 動力装備の出力設定：○○○○○○○
- ・ 動力装備の消費量：○○○○○○○

2. 1 0 禁止されている操作

(禁止されている操作があれば内容を示す。)

2. 1 1 重心位置の制限、重心位置の計算/検証の手順

2. 1 1 . 1 重心位置の制限

重心位置の制限を、表〇に示す

表〇 重心位置の制限

方向	許容重心位置範囲
前後方向	〇〇〇〇~〇〇〇〇
左右方向	〇〇〇〇~〇〇〇〇
垂直方向	〇〇〇〇~〇〇〇〇

2. 1 1 . 2 重心位置の計算/検証の手順

(重心位置の計算/検証の手順を示す。)

2. 1 2 最高運用高度

- ・ 〇〇〇〇m

2. 1 3 上昇率/下降率

- ・ 最大上昇率：〇〇m/s
- ・ 最大下降率：〇〇m/s

2. 1 4 速度範囲のマーキング

- ・ 緑色 : 〇〇~〇〇m/s (通常運用範囲)
- ・ 黄色 : 〇〇~〇〇m/s (警戒運用範囲)
- ・ 赤色指示線 : 〇〇m/s (最大速度)
- ・ 〇色三角形 : 〇〇m/s

2. 1 5 失速速度

- ・ VS : 〇〇m/s
- ・ VS0 : 〇〇m/s

2. 1 6 フラップ使用時の速度範囲

- ・ 〇〇m/s~〇〇m/s

2. 17 最大離陸重量における最低運用速度 (VMIN 及び VMINO)

- ・ VMIN : ○○m/s
- ・ VMINO : ○○m/s

2. 18 最小離陸重量における運動速度

- ・ VA : ○○m/s

2. 19 超過禁止速度 (VNE)

- ・ VNE : ○○m/s

2. 20 荷重ファクター

(荷重ファクターの制限値があれば示す。)

2. 21 動力装備の最大出力

- ・ ○○kgf

2. 22 環境制限

- ・ 飛行できる環境 : (適合する環境条件を示す。)
- ・ 飛行が禁止される環境 : (不適合の環境条件を示す。)

2. 23 風速制限

- ・ ○○m/s 以下

2. 24 その他のパラメータ

- ・ 最低運用人数 : ○○人 (操縦者○人、管理者○人、○○者○人)
- ・ バッテリーの温度範囲 : ○○○℃以上、○○○℃以下
- ・ Electric Speed Controller の最高温度 : ○○○℃
- ・ モーターの最高温度 : ○○○℃
- ・ 最大プロペラ回転数 : ○○○○○rpm
- ・ 動力装備の制限 : (動力装備の制限があれば示す。)

* 上記の例のうち、当該機体に限界事項の設定がない項目については、記載する必要はありません。また、上記の例以外にも限界事項がある場合には、記載する必要があります。

第3章 無人航空機の運用手順

(非該当の項目や特記すべき手順が無い項目については、記載する必要はありません。)

3. 1 一般

本章には、無人航空機の運用手順（通常操作及び非常操作）が記載されている。

3. 2 通常操作

3. 2. 1 飛行準備

(飛行準備の手順を示す。)

3. 2. 2 飛行前の点検

(飛行前の点検の手順を示す。)

3. 2. 3 無人航空機及びAEのシステム起動

(無人航空機及びAEのシステムの起動の手順を示す。)

3. 2. 4 タキシング

(タキシングの手順を示す。)

3. 2. 5 離陸及び離陸表面の種類

(離陸及び離陸表面の種類の規定を示す。)

3. 2. 6 自動操縦及び遠隔操作

(自動操縦及び遠隔操作の手順を示す。)

3. 2. 7 降下（又は進入）

(降下の手順を示す。)

3. 2. 8 着陸及び着陸表面の種類

(着陸及び着陸表面の種類の規定を示す。)

3. 2. 9 無人航空機及びAEのシステム停止

(無人航空機及びAEのシステムの停止の手順を示す。)

3. 2. 10 飛行後の点検

(飛行後の点検の手順を示す。)

3. 2. 1 1 操縦者に必要なその他の情報

(必要なその他の手順を示す。)

3. 2. 1 1. 1 コントロールステーションの切替え (管制切替え)

(コントロールステーション (GCS) の切替えの手順を示す。)

3. 2. 1 1. 2 FPV カメラ (又はカメラ) の使用

(FPV カメラの使用手順を示す。)

3. 2. 1 1. 3 操縦者と補助者間での連絡方法

(操縦者と補助者間での連絡方法と手順を示す。)

3. 3 非常操作

3. 3. 1 動力装備システムの故障

(動力装備システムが故障した際の手順を示す。)

3. 3. 2 火災

(火災が発生した際の手順を示す。)

3. 3. 3 C2 リンクの途絶 (喪失)

(C2 リンクが途絶した際の手順を示す。)

3. 3. 4 航法システムの喪失

(航法システムが喪失した際の手順を示す。)

3. 3. 5 GCS の故障

(GCS が故障した際の手順を示す。)

3. 3. 6 フライアウェイ

(操縦装置又は無人航空機に搭載されるシステムのいずれか又は両方が故障した結果として想定飛行範囲内から逸脱した場合にその対処手順を設定しているときは、その手順を示す。)

* 使用者に対応手順を知らせる必要がある故障が他にもあれば、項目を追加して下さい。

第4章 性能情報

4.1 一般

本章には、性能情報が記載されている。

4.2 飛行性能

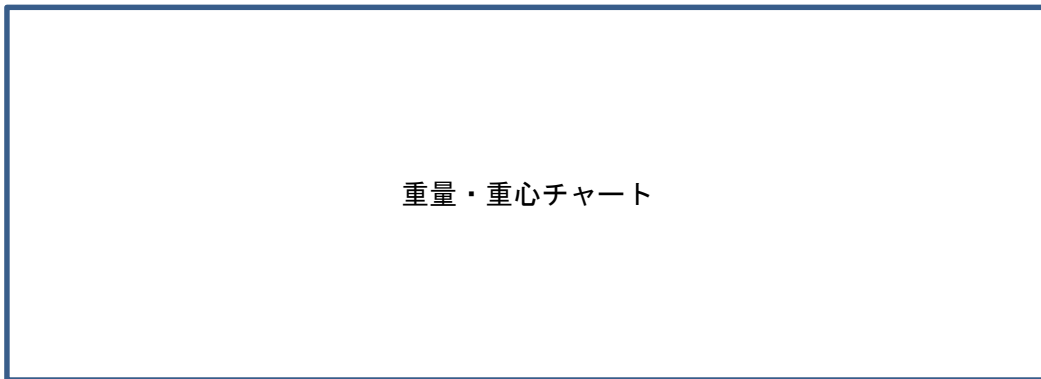
(限界事項該当する性能以外で、飛行の参考になる性能情報を記載します。機体の重量や速度に応じた飛行性能や航続性能が考えられます。)

第5章 搭載情報

5.1 一般

本章には、無人航空機の搭載情報が記載されている。

5.2 重量・重心チャート



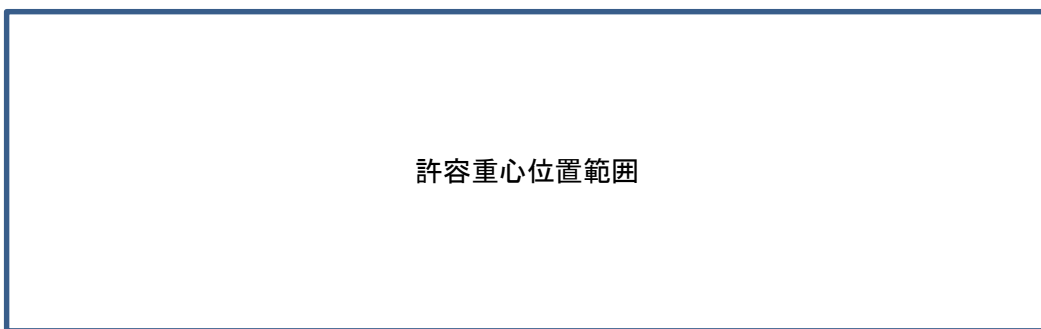
図〇 重量・重心チャート

5.3 荷物、バラスト搭載

(荷物、バラスト搭載について、重量・重心への影響を示す。)

5.4 許容重心位置範囲

許容される重心位置の範囲を図〇に示す。



図〇 許容重心位置範囲

5.5 重量・重心に影響を与えるオプション装備品のリスト

(重量・重心に影響を与えるオプション装備品の一覧を示す。)

第6章 設計、運用又は取扱いによる安全な運用に必要なその他の情報

6.1 一般

本章には、無人航空機の設計、運用又は取扱いによる安全な運用に必要なその他の情報が記載されている。

6.2 継続的な運用安全通報

(継続的な運用安全通報に関する手順及び注意事項を示す。)